

幽玄の灯に導かれ ご先祖さまと集うタベ



7 13 15

ハ
山
文
庫

2014 8月号

発行所

真言宗
八事山 興正
<http://www.koushoji.or.jp>
 TEL052-832-2801
 FAX052-832-8383
2608号
毎月末日発行杜
の
コ
ラ
ム

年配者の口癖の一つ「今どきの若者は」。裏を返せばその背景に「昔はこうではなかった」の含みがある。

実はこの言葉は、それこそ昔から使われている。ソクラテスの若者への苦言はよく知られることであらうし、我が国の民俗学者、柳田國男さんの「木綿以前の事」には「四〇〇〇年前のエジプトの古跡から当時の若者批判の記述が発見された」とある。遙か古より、年配者は若者に対して苦虫を噛み潰すような思いをしてきた。

では、本当に昔はよかったのかを問う本を、先日、手にとった次第。コピーライター・大倉幸宏さんの「『昔はよかった』と言うけれど」。戦前のマナー、モラル、常識などを当時の新聞などから集めてその実態に迫った。これがなかなか面白い。

それによると、電車で席を譲らない若者や化粧をする女性は今

☆ ☆

通

山 記

4ページ
8ページ

とほとんど変わらない。更に言えば、戦前は列車で裸になり着替えをする人までいた。銭湯は湯船で体を洗うため黒く濁り、川はゴミ捨て場と化していたという。なかだか今の方がマシではないかと考え込んでしまう。

柳田國男さんは昔風と現代風についても触れている。

「年配者と若者とは、二つの生活趣味は対立し、互いに相手を許さなかった」として「何を今さら、新と旧の対立を見せられても面白くも何ともない」と切り捨てた。さすが、見識が光る。

流行り廃りが急速に進む中で、漠然とした世代間対立が感じられる中、「今どきの若者」「昔はこうではなかった」などの発言や対立は何の利益も生まない。先輩は経験を生かして社会貢献をし、若者はそれを補いながら敬う。

相互供養、相互礼拝
この形の調和が重要だ。（森田）

平成26年9月6日(土)～8日(月)

平成太仏入仏式まで あと36日



特集

平成大仏入仏式

平成二十六年九月六日(土)

十三時より「入仏鎮座式」

十二時より「細曳き受付」
(受付順)混雑時はお待ちいただく事がございます

平成二十六年九月七日(日)

十時より「入仏献茶式」

十一時より「百味供法要」

平成二十六年九月八日(月)

十一時より「入仏開眼式」

一〇〇年先の未来へ

平成大仏入仏式

八事山興正寺 天瑞圓照

貞享三年(一六八六)、全国で修行を重ねた天瑞圓照和尚が、八事の地に草庵を結んだことを起源とする興正寺。二本尊の大日如来は、時の尾張藩主・徳川光友公の発願により、元禄十年(一六九七)に開眼しました。

街道しかなかったこの地にまちが生まれ、文化五年(一八〇八)に五重塔が完成した際には多くの人々が参拝に訪れ、名古屋の城下町が静かになるほどだったと伝えられています。

廃仏毀釈の嵐にさらされた明治時代も乗り越え、當寺は學問・修行の寺、信仰の寺として変わらず皆様をお迎えしてまいりました。創建より三百年を経た現在、社会情勢はもろろん、人々の価値観も大きく変化しています。

諸人が集い、心のよりどころとなるのが寺の大きな役割の一つです。その務めを全うするため、今の世の中に寄り添うにはどう在るべきかを模索し続けてまいりました。

「平成大仏」は、開山天瑞圓照和尚が戒律を守る規範として奉安していた御仏の掛軸。

宝物庫に収められていたこの尊像を現在に再現する総高七・一メートルのお姿こそ、平成大仏・釈迦牟尼大仏です。千年変わらぬ姿で、私たちや未来の子孫までも見守りお導きいただくよう、素材には銅製の鋳造を採用。日本でも有数の伝統工芸鋳物の街富山県高岡市の鋳造所により命が吹き込まれ、平成二十六年九月六日に、いよいよ興正寺に入仏されます。



平成大仏、完成へ！

平成大仏「釈迦牟尼大仏」が無事組上げを完了したとのご連絡を、製作元である株式会社梶原製作所様より頂戴し、富山県高岡市まで訪問いたしました。待っていたのは、見上げるほどの大きな大きな仏さま。その厳かなお姿に思わずため息がもれました。

大仏さまはこれから最後の仕上げを行い、いよいよ八事にお越しになります。

入仏鎮座式

にやうぶつちんざしき

平成大仏入仏式まであとわずか。待ちに待った大仏さまがやってきます。入仏式期間中の三日間は、様々な法会・行事が行われます。ぜひご来寺いただき八事の杜にて、千年の仏さまのお越しを盛大にお迎えしましょう！

9月6日(土) 13時より興正寺参道にて

まずはなんとといっても「入仏鎮座式」。

総高七メートルを超す大仏さまを皆さま方にご志納頂いた「善之綱」でお曳き申し上げ、奉安いたします。散華舞う中、約七十メートルの参道を進んでいく大仏さま。一体どのような華やかな行列になるのでしょうか。

平成大仏

善之綱を引く図



入仏献茶式

にやうぶつけんちしき

9月7日(日) 10時より五重塔前にて

献茶とは、崇敬の心をもって神仏に濃茶と薄茶をお供えする儀式です。この度の入仏献茶式では表千家家元宗匠に御奉仕いただきます。

【入仏献茶式】表千家千宗員(猶有齋)宗匠御奉仕

拝服席薄 茶松尾流大島宗秀

協賛席濃 茶表千家柴田紹和

協賛席薄 茶表千家長谷川如隠

百味供法要

ひやくみくほうよう

11時より五重塔前にて

献茶式に続き、百味供法要が厳修されます。大仏さまの御前に据えた大きな白木壇に、僧侶の手によって百のお供物が奉納される、千年に一度の浄行です。「百とは大数にして定まれる「百には非ず」。「百」は「いろいろのもの」「たくさん」という意味が込められております。穀物、野菜、果物、乾物など色鮮やかな最高のお供えで平成の大仏さまをお迎えいたします。

百味供法要「百味の膳」お供えのご案内

この勝縁の機、「百味の膳」ご志納を受け付けいたします。ご志納くださった皆様方の御芳名は、当日「百味の膳」と共に大仏さまの御前にお供えさせていただきます。合掌

「百味の膳」ご志納 一口金三、〇〇〇円

●興正寺受付にてお申し込みください。

入仏開眼式

にやうぶつかいげんしき

9月8日(月) 11時より五重塔前にて

入仏式のフィナーレを飾る、開眼法要。新たにお迎えした平成大仏「釈迦牟尼大仏」、その尊い魂を請じ入れる、ありがたい法要となります。この興正寺に鎮座し、千年先まで私たちを見守ってくださるその始まりのときに、ぜひご参列ください。





たかのしょうせい
高野 正清

暑い日々が続く中みなさまいかがお過ごしでしょうか？
さて今回は「参拝七つ道具」を紹介しましたが、今回は
参拝の基本のき「山門・手水舎でのマナー・作法」を勉強
していきましょう。

◆一、山門の前で一礼◆

山門は外の世界と仏様たちがおられる聖域との境目
でございます。

ここから仏様へと繋がる道が開ける場所になりますの
で、仏様が迎えて来てくださっている事を感じましょう。
参道は仏様や神様の通り道なのでなるべく端を歩くよう
にしましょう。



◆二、手水舎で身を清める◆

仏様に失礼がないように先ず身を清めます。

1. 右手に柄杓を持ち、左手を洗い清めます。
2. 柄杓を左手に持ち替えて右手も清めます。
3. 再び持ち替えて柄杓を右手に持ち、左の手のひらで水を受けて口を漱ぎます。
4. 最後に柄杓を縦にして自分が持った柄の部分に水を流し、元の位置に戻します。
5. ハンカチ等で濡れた手と口の周りをふくのもお忘れなく。



◆三、梵鐘を撞く◆

興正寺には観音堂の横に鐘撞堂があります。ただし他では参
拝者が鐘を撞くことを禁じている所もありますので許可する案内が
ない場合はしないようにしま
しょう。もし自由につけるので
あれば参拝の前につくように
します。お参りをする前に鐘を
つくのは「これからお参りさせ
ていただきます。」という仏様
への御挨拶だからです。

なお、お寺から出るときに
つく鐘は「出鐘」といって、亡
くなった方をあの世に送ると
きの鐘になります。縁起が悪
いので鐘を撞くときは参拝の
最初についてください。



今回は「参拝の基本のき本堂編パート1」です。

これで本堂に大分近づいてきました。仏様に手を合わ
せるのもあと少しです。暑さに負けず少しずつ勉強し
ていきましょう。

ツウの細道

先月お話ししたお釈迦
様の遺骨を納める塔を
サンスクリット語で
「ストゥーパ」といい、
今のお寺では五輪塔や
卒塔婆などがこのス
トゥーパ、仏塔にあた
ります。それ以外にも
興正寺に仏塔があるの
はご存じですか？

お寺の中心にある五
重塔もこの仏塔であ
ります。

この五重塔は江戸時代
に当たる文化五年
(一八〇八)に建てられ
高さ約三十メートルに
もなる、国の重要文化財になります。来る九月六日には
この五重塔の前に平成大仏「釈迦如来坐像」がおこしに
なります。仏様を新たに建立する事があっても大仏
様を建立することはまず無い事と思います。私たち
が生きている時代にあるこのご縁に感謝し、皆様に
大仏様をお招きしましょう。

合掌



盂蘭盆会のご案内

盆供養

ご先祖さまからいただいた命に感謝し、亡き人のご供養をいたします。
家族みんなで集まって、ご先祖様に元気な姿を見せてあげましょう。

8月10日(日)～16日(土)(予約不要)

●供養料一霊五、〇〇〇円(二尺塔婆付)

※お盆期間中は個別の供養はお受けできません。
指定時間での合同供養となります。
※13日は緑日のため、なるべく公共交通機関をご利用ください。

【受付・本堂】永代納骨・墓地・霊籠堂・法羅陀浄苑

日	10日(日)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)
時間						
8時	○	○	○	○	○	○
11時	○	○	○	△	○	○
13時	○	○	○	△	○	○
16時	○	○	○	○	○	○

【受付・圓照堂】※お盆期間中はお遺骨・お位牌はお出しできません。

日	10日(日)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)	16日(土)
時間							
8時	○	○	○	○	○	○	○
10時	○	○	○	△	○	○	△
11時	○	○	○	△	○	○	△
14時	○	○	○	○	○	○	△
15時	○	○	○	○	○	○	△
16時	○	○	○	○	○	○	○

△は混雑する時間帯です △はお受けできません



卒塔婆に書かれる
一文字一文字は、
故人への感謝の
気持ちを含めた
「手紙」のような
もの。卒塔婆を建
て、家族そろって
ご先祖さまを偲
ぶことは何より
のご供養となり
ます。

●お供え塔婆
(二尺)
三、〇〇〇円



初盆合同供養

人が亡くなってから初めて迎えるお盆のことを「初盆」と言います。故人が仏さまとなって初めて初めて里帰りいたしますので、より丁寧にご供養しましょう。

8月12日(火)

14時～15時30分／17時(要予約)

受付 光明殿外テント

供養料一霊五、〇〇〇円(二尺塔婆付)

盆施餓鬼会

餓鬼(生前の悪行によって餓鬼道に落ち、常に飢えと乾きに苦しんでいる魂)へ水や食べ物のお供え(施し)をして餓鬼道の苦しみから救うのがお施餓鬼です。その功德はご先祖さまへも及び、そのままご供養へと繋がります。

8月3日(日)

15時より(要予約) 受付 普照殿

8月16日(土)

11時13時／15時(要予約) 供養料五、〇〇〇円(四尺塔婆付) 一〇、〇〇〇円(五尺塔婆付) 三〇、〇〇〇円(六尺塔婆付)

※お早目のお申し込みをお願いいたします。

精霊流し 8月15日(金)

蓮ろうそくに明かりを灯し、覚岸に帰られるご先祖様や亡くなった方の御霊をお見送りいたします。あわせて行われます盆踊りは夏の風物詩でもあります。ご家族そろってお越しください。

8月15日(金)

受付 納経所前

お精霊さん供養料一、〇〇〇円



※盆踊りは17時頃からはじまります

大変暑い時期ですので、涼しい服装でお越しください。

寺宝通心

その十六「笑顔あふれる興正寺」

貞享三年（一六八六）、開山天瑞圓照和尚が八事の地に草庵を結ばれてから今年で三二八年。その間には幾度か存続にかかわる危機もありましたが、そうした折にも本懐を忘れず、興正寺は寺としてあるべき姿を求め続けてきました。

時代の流れの中、寺に求められるものも変化してきていますが、ご先祖様を供養しご家族の平穏な日々を祈願する場であることは変わりありません。



整備後の境内(予定図)

一方で不便でもある一方、一段が高石の階段も、足をとられてしまう砂利道も、「手を合わせ、祈る」ために来寺される方々の自由な往來の妨げとなっていることが懸念されていました。

そこで一念発起し、天瑞和尚の三百回忌にあたる平成三十年に向け、参拝の方々に優しい境内をつくる「平成の大改修事業」を進めております。

五万坪の境内には東山と西山があります。古くは東山は修行の

地であり尾張徳川家の祈願所で、西山は人々が参拝に訪れる地と分けられていましたが、現在はどうなっても自由に参拝いただけます。

お子さんを連れて散策に訪れる方、健康のために体操をする方、はたまた部活の練習に石段を駆け上がる学生さん、四季折々の自然を写生したり撮影される方、参拝以外にも様々な目的で興正寺を訪れてくださいます。

「むかしは寺で日が暮れるまでかくれんぼをした」と懐かしげに話してくださったおじいちゃん、ピオトープでザリガニ釣りをする子どもたちを目を細めて見ていました。

安産祈願（無事出産された後の御礼参りもあります）、稚児行列・七五三・十三参り、受験合格祈願・結婚式・お葬式とその後の法要。人生の節目に訪れた方が、また一歩先に進む後押しをさせていたいただくのも寺の務めです。

人が集まり、笑顔になれる場所。心の安らぎを感じていただける場所。これからも変わらず興正寺がめざしていくものです。

（川村）

展示のご案内

企画展『描かれた興正寺』

期 間 平成26年8月19日(火)～8月28日(木)

興正寺を題材にした絵を描いてみませんか？

企画展「描かれた興正寺」で現代の興正寺の絵画作品を募集しています。

◆募集要項

- 応募資格 プロ・アマ、年齢問いません！
- 作 品 はがきサイズ(100mm×148mm)またはA5サイズ(148mm×210mm)上記以外のサイズの作品応募についてはお問い合わせください。
- 応募点数 お一人様2点まで。
- 受付期間 平成26年6月20日～8月10日必着
- 応募方法 配布チラシについている「第1回 描かれた興正寺作品応募欄」を記入の上、作品の裏面に貼り、郵送または持参ください。

◆注意事項

- ①作品は展示の際に、補強を行います。
- ②応募多数の場合は、展示場所の都合上、展示作品を1点とさせていただきます。
- ③出品作品は受付後、十分注意をして取り扱いますが、不可抗力による損傷については、責任を負いかねます。
- ④本展及び興正寺の宣伝広報のため、作品撮影し、新聞、雑誌、HPなどへの掲載、放送、図録の発行などを自由に行うことができます。



竹翠亭襖絵保存・制作事業

襖絵の筆入れから六か月が過ぎようとしています。凛とした冷たい空気が肌を刺す二月から、日差しの眩しい夏へ、季節の変化を肌で感じる今日この頃です。竹翠亭の竹の成長も著しく、タケノコから真っ直ぐ伸びる若竹へ。五月雨に濡れた竹の艶やかな緑を見ると、その趣にひと時、心が揺さぶられます。

竹翠亭の室内も襖から御簾へと変わり、風が気持ちよく通り抜け、床飾りも涼しげです。最初に筆入れされた襖の竹も、冬の厳しさを生き抜いた老々とした竹から、まだ竹皮が残る新しい竹に見えてきます。周りの変化によって見える世界、ものの捉え方が変わってくるのは、微細な変化に情緒を感じる日本人ならではの感性ではないでしょうか。

御簾が掛けられている間、しばし皆様の目に触れなくなる襖絵や引手金具。平成の匠が一点一点丁寧に作った金具は、寸分違わぬ程の見事な仕上がりでありながらも微妙な違いがあり、その違いを個性ととらえることが出来るのも日本人の美意識だと思います。

変化を楽しむ、そんな空間が竹翠亭の魅力の一つです。

(山本)



興正寺竹翠亭 襖絵保存・制作事業への御志納お願い

興正寺では、平成大仏建立、総門や新たな堂宇の建設などの事業を進めております。このたびの竹翠亭の襖絵保存修復および制作事業はその一環で、現在ある襖絵を修復するとともに、新たに『開山天瑞圓照和尚一代記』を描いた襖絵を制作いたします。

竹翠亭は皆様方の憩いの場、文化と触れ合える空間です。

この事業を行うことで、新たな文化財を創出し、後世に伝えられるとともに、地域文化の活性化と伝統技術の継承に寄与したいと願っております。つきましては、趣旨に御賛同いただき、ぜひとも保存修復および新たな襖絵制作に御寄進と御厚情を賜りますよう、お願い申し上げます。

合掌

竹翠亭 襖絵保存・制作事業御志納

御 志 納 一口 金壱千円より
大口御志納 一口 金拾万円より

襖絵保存・制作事業 志納者ご芳名

西脇洋子

自平成二十六年六月十一日

至平成二十六年七月十日

御志納を賜り、心より感謝申し上げます。

お問い合わせ先

八事山興正寺 襖絵保存・制作担当

寺務課 川村・山本

TEL 〇五二一八三二一 二八〇一

◆ほたる放生会 6月28日(土)・29日(日)

初夏の風物詩「ほたる放生会」が行われ、2日間で約2,500名がて来寺されました。螢の生態について学ぶ「自然観察会」も本堂より人があふれるほどのにぎわいを見せ、参加者は興味深く講師の話に耳を傾けました。また今年より設置された幼虫の観察テントにも長蛇の列ができ、訪れた子供たちは初めて見る螢の幼虫に興味深く覗き込んでいました。



八事山

◆やすらぎ庵オープン 6月27日(金)

イオンモール名古屋茶屋1Fに「やすらぎ庵」がオープンいたしました。全国でも初めてのお寺のイオンモール出店となります。今後は興正寺港別院の情報発信を行うとともに、法話や写経写仏などの講座を開催していく予定です。みなさまのお越しをお待ちしております。(問い合わせ 電話:052-364-6271)



◆南山大学附属小学校 社会科校外学習 6月27日(金)

南山小学校6年86名が、社会科校外学習にて興正寺境内を訪れました。子どもたちは3グループに分かれ境内散策・茶の湯体験・竹翠亭見学のプログラムを行い、教科書に出てくる「歴史」が現代へとつながっていることを体験し、今後の学びへの意欲を新たにしていました。



◆夏休みラジオ体操 7月19日(土)~25日(金)

夏休み恒例のラジオ体操が、7月19日(土)から25日(金)までの1週間、興正寺五重塔前で開催されました。ラジオ体操のあと、本堂内に場所を移しておつとめを行い、僧侶による法話に耳を傾けました。また希望者で境内の清掃活動も行い、子ども達を始め多くの父兄の方達と清々しい朝の時間を過ごしました。



◆第二法羅陀墓苑(仮称)整地

能満堂横、西山を見渡すことのできる場所に第二法羅陀墓苑(仮称)の整地・造成がはじまりました。完成すれば地藏菩薩に見守られた新しい形の祈りの場、やすらぎの場となります。



◆青葉まつり 7月11日(金)

真言宗の開祖であられる弘法大師空海の生誕を祝う「青葉まつり(降誕会)」が、旧暦6月15日に当たる7月11日(金)に興正寺本堂にて厳修されました。台風一過、大変暑い日となりましたが、高祖弘法大師の誕生日を祝おうと多くの参拝者が訪れました。



◆七月盆 葵燈籠会 7月13日(日)～15日(火)

7月13日からの三日間、七月盆「葵燈籠会」が行われました。それぞれ「迎え法会(13日)」「東日本大震災慰霊法会(14日)」「送り法会(15日)」が厳修され、参加者は亡き方々に想いを馳せながら手を合わせました。期間中は境内に約千本の竹燈籠が並び、来寺者は幽玄美漂うゆらぎの灯に亡き人を偲びました。



◆興正寺 月釜 7月12日(土)

去る7月12日(土)、興正寺月釜が開催されました。武者小路千家・伊藤妙宣先生のもと、門下生を始め多くの茶の湯愛好者が訪れ、七夕の趣向溢れる一碗を楽しまれました。



歳時記

◆施設訪問法話

6月20日(金) 南山の郷デイサービスセンター

南山の郷様の出張法話は3回目になります。今回訪問させて頂いた正木僧侶からお盆、施餓鬼の話をして頂いた後、皆様と一緒に読経させて頂きました。これからも継続的に訪問させて頂ければと思います。



6月30日(月)

昭和区デイサービスセンター

牧野僧侶による出張法話では、八事、御器所周辺の歴史のお話を中心にさせて頂きました。施設利用者からのご質問を頂き、温かい会となりました。今後とも昭和区の社会福祉のお役に立てればと思います。



7月6日(日) 希望の郷

興正寺港別院やすらぎ庵の近くにある希望の郷で出張法話を行わせて頂くのは2回目です。今後とも港区内での活動の幅を広げていき、名古屋全体に興正寺の教えを伝えていきたいと思ひます。



一日修養会ダイジェスト

聖者の行進④ 浄土宗の開祖「法然」 担当僧侶 梶田 英伸

お釈迦様から時代は下り、悟りを得る者も、正しい修行を行う者もいなくなってしまう。世も末に末法の時代。平安末の承安七年（一一三二年）に末法が到来してしまつてから、八一年後にお生まれになったお方こそ、末法から人々を解放した法然上人その人なのです。

法然上人は、美作国（現・岡山県）の地方豪族の出身。父君、漆間時国は押領使という地域の治安を守る武士でした。

幼い法然（幼名・勢至丸）自身に最初に訪れた「末法」とは、この父が突然の夜討ちによって殺される、ということでした。新たに莊園を治めるために都からやつて来た明石定明という役人にとって、地域の親愛を集める実力者である漆間氏は、目の上のたんこぶだったに違いありません。中央と地方との確執。人倫の乱れ。平安という長い治世がいよいよ疲弊し、終息しようとする時代に、各地で頻発する下剋上の有り様に呼応するかのよう

に、地震や飢饉などの天災も人々を襲います。



※法然（一一三三—一二一二）やうつむいて、数珠を繰りながら念仏を唱える穏やかな姿。「日光大師」はじめ、大師号が八つもあるのは、各宗祖のなかでも法然上人のみ。八番目の大師号「法然大師」は、平成二三年に今の天皇陛下より下賜された。

法然が末法の闇に心を塗り潰されなかったのは、もしかすると父君の遺言によるのかもしれない。いわく「決して仇討ちするな。敵を恨むな。お前は出家をして、我と一族の菩提を弔ってくれ」と。

九歳で父を失い、母に手を引かれ、叔父である親鸞のもとで出家。その智慧がずば抜けていることを見抜いた親鸞は、法然を比叡山へと登らせました。大阿闍梨の弟子となるも、山の上にも、末法が。比叡山の僧侶らは武装して僧兵となり、朝廷へ強訴の日々。俗世を捨てて出家したはずの法然は、比叡山上での世俗を捨てて、さらに山深い、黒谷の地へと隠遁します。以降、四二歳で「南無阿彌陀仏」の教えに出会うまで、經典の勉強に没頭する日々を過ごすのです。

「仏法は確かに貴い。しかし、もはや世は末法。様々な教えは伝わるが、その教え通りに修行を積み重ねて悟りを得ることは、もはや困難な時代。この愚かな我が身では、たつた一つの成めさえ保つこともできない。立派な高僧ならばまだしも、乱世に翻弄され、明日の身をも危ぶまれる名もなき人々には、いったいどのような教えがふさわしいのだろうか？」

黒谷での隠遁生活の実に二十年余りの年月は、この問いかけの日々でした。

しかし、いかなる学僧・高僧からも答えは得られず、嘆き嘆きすべての經典を拝読すること実に五たび。その末にたどり着いたのが、「修行の所作や時節などの細かい決まりなどは問わない。一心に阿彌陀仏の名をひたすら念じるだけでよい。なぜなら、これこそが阿彌陀仏ご自身の願いにかなう行いのからだから」という唐の浄土門の高僧・善導の一文でした。



※「一枚起請文」法然、往生の二日前に、もっとも側仕えした弟子・源智の請いによって書かれた遺言状。法然自身の念仏の教えを端的に語るとともに、間違った理解で念仏を広めることを止めており、「名文中の名文」と称される。

法然以前の浄土信仰は、庶民のものではありませんでした。極楽浄土をこの世に再現できるような大貴族と（平等院鳳凰堂を築いた藤原道長など）、修行だけに専念できる特別な環境にいられた高僧たちのものであり、いかに尊い教えとはいえ、末法に翻弄されて明日をも知れぬ庶民には、高嶺の花でした。しかし、法然の気づきは、これらを大きく価値転換してしまいます。どんな人でもできる簡単な修行「南無阿彌陀仏」と声に出して唱えることこそが、もっとも阿彌陀仏の御心になうおこないである、と人々に説いて回ったのです。

これにより、末法を生きる人々には「体系的な複雑な教えではなく、ひとつの単純な修行に専念すればよい（専修主義）」という立場が見出されました。法然に続く親鸞、また浄土や日蓮宗など「鎌倉新仏教」と呼ばれる力強い各宗派の立場も、ある意味法然を皮切りにしているのです。

法然教団はひそやかに、しかし着実に広まります。初めは法然と同じく天台僧の仲間うち。やがて京の都の名もなき庶民に。ついには名だたる貴族、また新たな勢力の開闢の武士たちに。

しかし、いかに隠遁者たちの「この世を捨てた来世・極楽への願い」とはいえ、急速に大教団化してしまつと、危険視されてしまいます。また、教団の人数が増えるにつれ、法然の意図とは大きく外れた身勝手な主張をする者たちまで現れてしまいます。法然の晩年は、たび重なる従来仏教からの非難とそれへの誠実な対応が繰り返されます。しかし最晩年、弟子たちの感化力が上皇の逆鱗に触れてしまい、多くの弟子が処罰される事態にまで。住持・安楽という二人の弟子は処刑。親鸞は越後へ配流。法然自身、七五歳という高齢で、讃岐へと配流されます。すぐ近畿へ戻れることは許されませんが、ようやく京都へ戻れたのは七九歳の十二月。翌年の正月二五日、現・知恩院の地で、大勢の弟子たちの念仏の声と共に極楽への大往生を果たされたのでした。御年、釈尊と同じ八〇歳でした。

一日修養会

【法話・聖者の行進(踊り念仏一遍)・写経】
8月23日(土)
10時~14時頃

今回は「聖者の行進」と銘打って、各宗派を開かれた祖師や高僧のお話。境内の庭園を眺めながらお料理もお楽しみいただけます。

支 具 料:2,000円(昼食付)
定 員:66名(要予約) 申込締め切り:8月21日(木)
お問合せ・お申込みは、光明殿1F 事務局まで
☎0120-8510-78

団体参拝通心

お坊さんと行く興正寺団体参拝

興正寺団体参拝は當寺僧侶が随行し、一緒にお経をつとめ、バス中では法話もごさいます。どなたでもお気軽にご参加いただけます。お寺やお坊さんを身近に感じていただき、仏縁を深めていただければ幸いです。

7月2日(水) 日帰り高野山参拝



随行僧侶
高野僧侶

長時間バスでの移動お疲れ様でございました。今回高野山への団体参拝は奥之院と壇上伽藍を参拝させていただきましたが、やはり奥之院というのは聖地ですね。一步踏み入ると変わるあの空気感、高野山へ修行に行っていた頃の初心を思い出させていただきました。皆さまとよりよい参拝が出来るようこれからも日々精進させていただきますので、次回の団体参拝も是非ともご参加ください。ありがとうございます。合掌



今年も日帰り高野山参拝が敢行されました。梅雨の最中、団体参拝が、今回無事に行うことができ、大変嬉しく思います。来年は高野山開創1200年目になります。興正寺での団体参拝として来年も高野山参拝を予定しておりますので、是非ともご参加ください。多くの方にご参加いただき誠に有難うございました。

平成26年度団体参拝予定

◆虚空蔵菩薩めぐり〈全3回〉

第2回 9月29日(月)、30日(火) 1泊2日

広島県宮島 厳島神社 弥山本堂 支具料35,000円

弥山本堂にある求聞持堂は弘法大師が百日間の求聞持法を修した場所で、真言密教の日本三大道場に数えられています。また国重要文化財である、平宗盛が寄進した大梵鐘が安置されています。日本屈指の名社である厳島神社は世界文化遺産に指定されており、海に浮かぶ能舞台や大鳥居などたくさんの見所があります。

第3回 10月14日(火) 三重県 金剛證寺 伊勢神宮

◆総本山・大本山めぐり〈全2回〉

第2回 静岡 11月20日(木)

臨済宗方広寺派大本山 方広寺 遠州古刹めぐり

- 日程、費用等は変更となる場合がございます。予めご了承ください。
- 募集定員に満たない場合は中止とさせていただきます。
- 各参拝の朱印等をご希望の場合は別途費用が必要です。
- 申込受付開始は光明殿にてお知らせします。
- 締め切り 各参拝日の7日前(1泊2日のツアー除く)
- 申込方法 ご来寺またはお電話にて
- 支払方法 ご来寺またはお振込にて前払い
- お問い合わせ 光明殿 興正寺事務局 0120-8510-78

日頃から、八事山の整備事業にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

いよいよ夏到来。

八事の山の緑も、いっそう濃くなってきました。コナラも桜も紅葉もがんばっておりますよ。このまま夏バテしないで夏を乗り切ってください。

さて、どうしても移植しなくてはならなかったアジサイの様子を調べてきました。今年は花をつけられなかった株も多かったですが、大方は再び根付くことができました。アジサイは強いですね。中心の枝は枯れても根っこから生き生きとした葉が出ています。写真はピオトープ対岸に根付いて、さらに花をつけてくれた株です。いつの日か、ピオトープの対岸がアジサイで埋まるといいですね。

「また参加したいのでぜひ連絡を」というご要望が多い「献木」ですが、残念ながら今のお寺にはご希望通りに苗木を植える場所がありません。平成の大改修が終わるまで、お待



△ピオトープのアジサイ

八事のお山の昨日 今日 あした...

ちください。ただ、東山への松と桜の、記念樹の植樹計画が進行中です。植樹時期や本数など制限がありますが、ご興味ある方はぜひご連絡ください。

今年1月に新築されたエスカレーターの「新回廊」。皆さんに喜んでいただけているようで、嬉しい限りです。7月には周りのクチナシやアジサイが、数は少ないですが花を咲かせておりました。また、7月1日にこの回廊の軒先に御寄進者の名札がつけられました。寺と八事の森にさらなるご協力をいただいた方の、1万円以上の浄財御寄進のご芳名を掲示いたします。八事の森は皆様の森です。木々を育て、命に感謝し、心安らかな場とするためにも、ぜひ、これからも皆様のご協力をお願いいたします。(井上)



△クチナシの白い花



△回廊の芳名木札

竹 翠 通 心

普門園のご案内

- 拝観時間 10時～16時
- 拝 観 料 500円(お抹茶付)

月釜のご案内

9月12日(金) 宗徧流
名古屋支部一席二服
1,500円

遊翠の心

- 日程 <写 経> 8月 7日(木) 8月 8日(金)
9月 2日(火) 9月10日(水)
<茶の湯> 8月19日(火) 9月22日(月)
- <きもの装い講座>
8月6日(水) 9月3日(水)
お手持ちのきものを楽しく
装うための教室です

- 時間 午前10時～ 午後2時～
各2時間
- 定員 各回10名(要予約)
- 料金 1,000円(お抹茶付)
きもの装い講座のみ2,000円
- 各教室についての詳細、ご予約は
竹翠亭までお問い合わせください

興正寺マルシェ特別企画

着物を一緒に楽しみましょう

初めての方でも普段着から礼装まで楽に美しく着られる
ようになる「きもの装い講座」を無料体験できます。
洋服の上から帯結びを一緒にしてみましょう!

無料
体験

毎月21日 興正寺大書院にて 10時～/11時～/13時～(各回30分)

今月のご紹介

モール蓮紋皿

茶の道具には金属類も多く見られ、鉄、南鐐、唐銅の他、真鍮、砂張と
呼ばれる、銅を主とした合金の道具が用いられます。その中でも、表面
に鋳や鑿で文様を叩き出したり、彫り出したものを毛織といいます。

モールとは印度のムガル国で作られた織物で、その織物と表面の
模様が似ているところからそう呼ばれます。金物ゆえ手触りが冷やや
かで、夏の茶に涼を感じとれるようです。



喫茶 八琴庵

ミルク・小豆の
トッピングも
ございますよ



「せんじ」「いちご」「メロン」
「抹茶」各種 300円

天気長期予報では、
「今年の夏は“冷夏”でしょう」とよく耳にいたしますが
なんせ「名古屋の夏」ジメジメとした日々が続いております。
皆様いかがお過ごしでしょうか。
水分を充分におとり頂き、
皆様の笑顔を見せて頂けるのを楽しみにしております。
さて、今月は“夏”といえば「かき氷」!!
店内でも、お持ち帰りでも販売いたしております。
かき氷は「せんじ」「いちご」「メロン」「抹茶」各種300円にて
ご提供いたしております。
その他、人気の「ソフトクリーム」「フラベリッチ」など
夏の冷たいアイテムをご用意しております。

ご好評頂いております「モーニング」(7:00～11:00)
「ワンコインランチ」(11:00～14:00)も
よろしくお願いいたします。

営業時間は午前7時から午後5時です。(オーダーストップ午後4時30分)

平成大改修 志納ご芳名

〔金、壹拾万円〕永田順子

〔金、壹万円〕匿名

奉納白布 奉納者

〔金、壹万円〕宮澤悦子 角木信子 青木君枝
構井健治 宮島崇・真記・大徳・慈織
水野多津子 河合秀祐 柏崎孝子
米野久子 大野百合子

百味供法要 「百味の膳」志納ご芳名

〔金、参千円〕大鹿長谷見 大鹿静子 大鹿孝之
井上明美

修復瓦 志納ご芳名

〔金、肆千円〕NIWA KYOKO

〔金、貳千円〕柘植佳雄

〔金、壹千円〕山城矩子 富田ひさ 早川利昭 寺西章
寺西さだ子 寺西直彰 寺西由美子
寺西亮平 寺西隆彰 寺西桃己 匿名
匿名 安立高江 田中多喜恵 加藤健一
田尻良男 山田清春 浅見肇 小林真奈美

森の御寄進 志納ご芳名

〔金、壹万円〕布谷朝明

（順不同敬称略）

自 平成二十六年 六月十一日
至 平成二十六年 七月十日

ありがとうございます。心より感謝申し上げます。合掌
八事山 興正寺

各講座案内

～どなたでも参加出来ます～



●学ぶ

《仏教絵解き講座》講師 梶田英伸

8月18日 午前10時より

普照殿 華宮

16幅よりなる掛軸「地獄極楽掛図」を用いた絵解きです。
次回は「初七日・死出の旅路」「二七日・三途の川」です。

《仏教入門講座》

8月は休講いたします。

●仏讃歌

《ご詠歌上級者》講師 鈴木隆弘 光明殿 会食室

8月7日・29日 午後1時半より

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

《ご詠歌初級者》講師 鈴木智弘 光明殿 会食室

8月10日・21日 午後2時より

金剛流御詠歌の初心者向け講座です。

●体験する

《阿息観》

講師 杉浦宣秀

8月20日・30日 午後2時より

普照殿

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)に
やっております。誰でも心地よくリラックスできますよ！

《写経・写仏》

8月21日 午前11時半より

光明殿 会食室

法話を交えながら、写経・写仏を実習します。

※日程・会場は変更する場合がございます。
事前にお電話でご確認ください。

お坊さんが教える「ご葬儀」コラム⑧

出棺、野辺送り

西山 海良

◎出棺とは

葬儀告別式終了後、故人の入った棺を霊柩車に乗せ出
発するまでのことをいいます。もともと「出棺」という形
式は、「野辺送り」から変化したものの名残であります。

その昔は、土葬であったため、喪主や故人の親族、弔問
者たちが列を組み、墓地まで棺を担いで行列を組んで歩
いて参列しました。これを野辺の送りと呼んでいました。

◎出棺作法

故人と最後のお別れをする

葬儀告別式後、故人を霊柩車に乗せるまでの間、親族
や親しい友人達は、故人と最後のお別れをします。

棺の前に、喪主、遺族、近親者と血縁の深かった順に並
び、特別親しかった知人、友人が続きます。このとき、祭壇
に供えられていた花を一輪ずつ棺の中の故人の周りを埋
めるように敷き詰めます。これを「別れ花」といいます。故
人が愛用していた小物類と一緒に入れることもあります。

釘打ちの儀式をする

最後の対面が済んだら、棺のふたを閉め、釘打ちの儀式
をします。喪主を筆頭に遺族、親近者と故人とゆかりの深
い順に小石で一人一回ずつコツコツと軽く打ちます。

死者が無事冥土に着くようにとの願いをこめ、「三途
の川」の川原の石を意味する小石を使って打ちます。

出棺する

遺体の足元を先に向けて、遺族や親族の若い男性が運
び出し、霊柩車に乗せます。

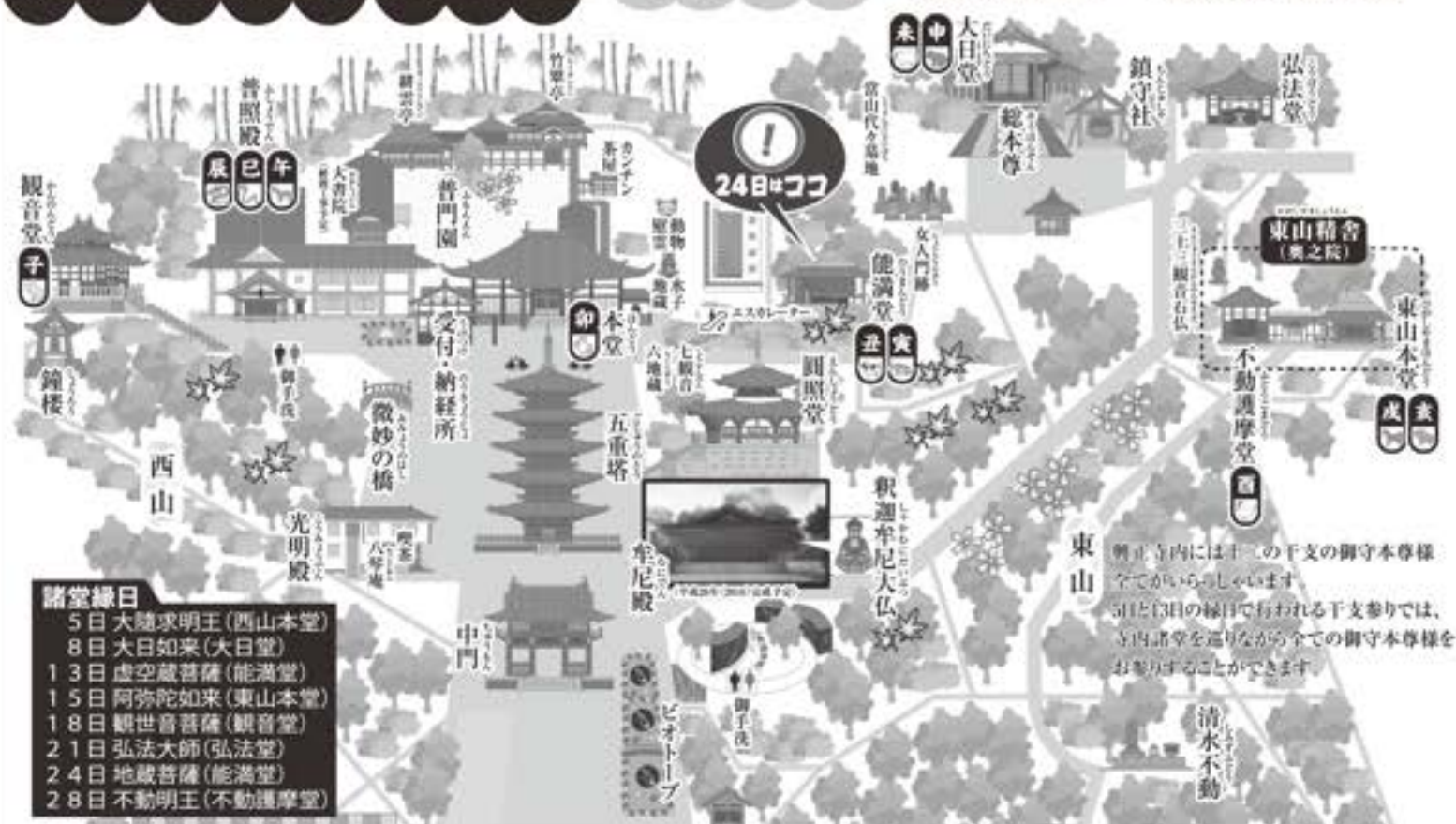
喪主は棺の前に位牌を胸に持って立ち、次の人が遺影
を持って続きます。

地方によっては、出棺時に棺を回したり、故人の使っ
ていた茶碗を割ったりする作法があります。これは故人
がこの世に未練を残さないために行われます。

縁日さんぽ 其の五

毎月24日

能満堂・地藏菩薩



- 諸堂縁日**
- 5日 大随求明王(西山本堂)
 - 8日 大日如来(大日堂)
 - 13日 虚空蔵菩薩(能満堂)
 - 15日 阿弥陀如来(東山本堂)
 - 18日 観世音菩薩(観音堂)
 - 21日 弘法大師(弘法堂)
 - 24日 地藏菩薩(能満堂)
 - 28日 不動明王(不動護摩堂)

みんな優しいお顔になる御縁日

御縁日はまずみなさんで「延命地藏經」というお経をお唱えし、そのあとに長さ九メートル、一珠約三センチの百万遍念珠を用いて念珠おくりを行います。地藏菩薩ご真言「おんかかびさんまゐいそわか」をお唱えしながら、大きなお数珠をみなさんで力を合わせてお回しします。おつとめが終わったら、色々なお地藏さんのお話をさせていただけます。みなさんニコニコして聞いてくださり、そのやわらかいお顔を見ては「おじぞうさまみたいだなあ」と心の中で思っています(笑)



みんな大好き！お地藏さん

地藏菩薩は、私たちの暮らしに馴染み深く、「おじぞうさま」と呼ばれ親しまれている仏さま。昔話にもよく登場されますね。今を生きている私たちを見守り救ってくださる、現世利益の菩薩さまです。また「地の蔵」から大地を連想するように、母性を感じさせる菩薩さまであり、特に子どもたちを守ってくれるとされ、古くより信仰されてきました。

お坊さんに縁日の由来や仏様のことをお聞きする「縁日さんぽ」。早くも第五回目、折り返し地点です。今月は毎月二十四日、お地藏さんの御縁日。教えてくれたのは豊田正純僧侶です。

八月二十四日は地藏盆！

今年からはじめての試みとして、御縁日に合わせて「地藏盆」のおつとめをおこないます。古来より、地藏菩薩は親より先に亡くなったために賽の河原で苦しむ子どもたちを救うと信じられてきました。このことから地藏盆では特に子どもが地藏菩薩にお参りし、鬼から身を守り、そのご加護を願う習わしになっています。この日は子どもが主役！八月二十四日十三時より新回廊にて行いますので、ご家族そろって是非！

豊田僧侶、ありがとうございます！



能満堂
地藏菩薩がいらっしゃる能満堂。御縁日は木彫りのおじぞうさま(豊田僧侶制作中)がお出迎え。



大数珠送り
ご真言と共に、力を合わせて大きなお数珠を回します。

8月のマルシェお料理教室 テーマ「フイトケミカルについて」

●野菜のBBQ焼き ●カラフル野菜の五色サラダ ●豆乳イチゴのさっぱりジェラート

要予約：〇五二・八三三・二八〇一(申し込み切：毎月十九日)
定員：二十名 参加費：二五〇〇円(持ち物：エプロン・筆記用具)

観音堂 九万九千日

8月10日(日)
9時より

この日にお参りをすれば、功德が九万九千日分にも広がるとされる「九万九千日法会」が、興正寺西山観音堂で厳修されます。観世音菩薩との勝縁をぜひ、お結びください。



だいはんにやてんどくきとうえ 9月5日(金) 大般若転読祈禱会



大般若経は、般若心経の大元となる大変ありがたいお経で、玄奘三蔵という中国の高僧が天竺(インド)より持ち帰った、全六百巻余にも及ぶ膨大なお経です。大般若転読祈禱会ではこの大般若経を一巻一巻広げて流し読む、転読という特殊なお経の読み方をします。これによって清らかな「般若の風」が起これ、全ての苦厄を消し去ると言われ、厄難消除・家内安全など諸願を祈願いたします。興正寺では一年に三度、一月・五月・九月に厳修されます。



お地蔵さんと縁を結ぶ

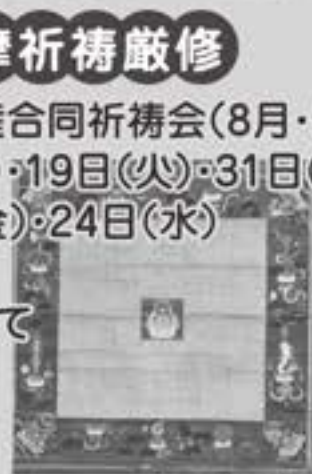
地蔵盆

8月24日(日)13時より
エスカレーター新回廊にて厳修

「随求の悲願は、求める子を得せしめ、安産をもたらす」 大随求明王の安産祈願

特別護摩祈禱厳修

戌の日 安産合同祈禱会(8月・9月)
8月7日(木)・19日(火)・31日(日)
9月12日(金)・24日(水)
14時より
西山本堂にて
祈禱料
5,000円



大随求陀羅尼

護摩加持の様子

古来より興正寺は安産の名刹として信仰されております。現代、興正寺においても子宝・安産法薬として「大随求陀羅尼」の御守をお持ちいただき、安産祈願を勤めております。

※腹帯にお名前をお書きしますので、事前のご予約
(電話・来寺)をお願いいたします TEL.052-832-2801

はじめのいっぽ

こんにちは。
本日のはじめのいっぽは月に一回行っている「ブライダルフェア」のご紹介です。
ブライダルフェアとは、結婚を予定しているカップルやその家族を対象としたイベントのことです。
ブライダルフェアは会場の雰囲気、料理の味なども確認できる絶好の機会。
式のイメージが湧かないカップルは気軽にきていただければと思います。

今回のブライダルフェアは、
模擬挙式(モデルを使った本番さながらの挙式体験)
試食体験(名古屋観光ホテルフレンチ料理)
和装試着体験を予定しております。

竹翠亭にてお抹茶で楽しむ待合。
和装で厳かな挙式。
畳のお席でアットホームな宴。
ずっと訪れる事の出来る場所。

結婚をお考えのお知り合いに是非オススメください。

縁を紡ぎ。
人を結ぶ。
新たな歴史が静かに、
そしてゆっくり刻まれる場所、
FUMON-EN (普門園)
八事の杜興正寺。
二人いつまでも寄り添うように。

8/17(日) 10:00-17:00

BRIDAL FAIR

八事の杜興正寺・普門園にて

FUMON-ENブライダルデスク
052-835-0011



サロシが移転しました。こちらもお越し下さい
◆CHOUCHOUBRIDALブライダルサロン
〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町100-32 八事ビル2D
TEL:052-835-0011 FAX:052-835-0032
TEL:052-835-0031(普門園ウエディングデスク直通)

8月の行事カレンダー

日	月	火	水	木	金 1	土 2
					赤口	先勝
3	4	5 緑日	6	7 立秋 戌の日	8	9
友引 ◎盆施餓鬼会 15:00 本堂	先負	仏滅 ◎大随求明王 緑日 露店アリ 10:00 諸堂千支参り	大安 ▽遊翠の心 着物装い 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料2,000円	赤口 ◎安産合同祈祷会 14:00 本堂 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 要予約 支具料1,000円 竹翠亭 小松永明 ▽ご詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴木隆弘	先勝 ◎大日如来緑日 12:30 大日堂 理趣分経 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 梶田英伸	友引
10	11	12	13 緑日	14	15	16
先負 ◎観音堂九万九千日 9:00 観音堂 ▽ご詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴木智弘	仏滅	大安 ◎初盆合同供養会 14:00 15:30 17:00 光明殿	赤口 ◎虚空蔵菩薩 緑日 露店アリ 10:00 法話会 普照殿 10:00 諸堂千支参り ◎圓照堂慰霊法会 15:00 本堂	先勝 ☆八事の森の 夏祭り	友引 ◎霊龜堂慰霊法会 16:00 普照殿 ◎法羅陀浄苑慰霊法会 16:00 本堂 ◎精霊流し・盆踊り 17:00 本堂前	先負 ◎布薩会 9:00 本堂 特別朱印アリ ◎盆施餓鬼会 11:00 13:00 15:00 本堂
◎盆合同供養会 永代納骨、墓地、霊龜堂・法羅陀浄苑に納骨されている方は本堂へ／圓照堂に納骨されている方は圓照堂へ 詳細はp.5をご覧ください						
本 堂 8:00 11:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00	本 堂 8:00 11:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00	本 堂 8:00 11:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00	本 堂 8:00 16:00 圓照堂 8:00 14:00 15:00 16:00	本 堂 8:00 11:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00	本 堂 8:00 11:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00	圓照堂 8:00 16:00
17	18	19 戌の日	20	21 マルシェ	22	23
仏滅 ☆プライダルフェア 15:00 仏前模擬挙式 (要予約)	大安 ◎観世音菩薩緑日 13:00 観音堂 護摩祈祷 法話 ▽仏教絵解き講座 10:00 普照殿 梶田 英伸	赤口 ◎安産合同祈祷会 14:00 本堂 ▽遊翠の心 茶の湯 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 ☆企画展 『描かれた興正寺』 ～8/28	先勝 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	友引 ◎興正寺マルシェ 露店アリ ◎弘法大師緑日 読経 法話 10:30 弘法堂 ▽写経写仏講座 11:30 光明殿 ◎月並御影供 14:00 本堂 ▽ご詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴木智弘	先負	仏滅 ▽一日修養会 10:00 光明殿 支具料 2,000円 要予約
24	25	26	27	28	29	30
大安 ◎地藏菩薩緑日 13:00 新回廊 ◎法羅陀浄苑地藏盆 16:00 法羅陀浄苑	友引	先負	仏滅	大安 ◎不動明王緑日 14:00 不動堂 護摩祈祷 法話	赤口 ▽ご詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴木隆弘 ☆名古屋市自動車図書館 14:00～16:00参道	先勝 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀
31 戌の日						
友引 ◎安産合同祈祷会 14:00 本堂						

當山最古の法会

ふ さつ え
布 薩 会

8月16日(土) 9時より

本堂にて

特別朱印・参拝者次第授与

布薩とはサンスクリット語で「ボッシャダ(褒酒陀=長淨)」といい、戒師と教授が問答を繰り返しながら自己反省をし罪を懺悔告白する儀式です。その歴史は長く、日本で本格的に執り行われるようになったのは奈良時代の中期と言われています。いにしえから連綿と続く法会の、深く厳粛な空気を心身に感じながらご自身を見つめ直していただく機会としていただければと思います。



— 興正寺は自然環境に配慮し、地球環境保全に貢献しています —